

6月25日 小学生田植え
秋の収穫が楽しみです

菊池北小学校5年生40人、菊之池小学校5年生31人、花房小学校5年生12人が田植え体験をしました。菊之池小と花房小は2校合同で実施。児童たちは、地元の農家や土地改良区の皆さんに指導を受けながら苗を植えました。



児童たちは泥の感触や水中の生き物に歓声をあげていました。収穫したお米は給食や家庭科の授業などに使用される予定です

7月4日 菊池ローイングクラブ
ボートのまち菊池を目指して

竜門ダムの斑蛇口湖ボート場で「菊池ローイングクラブ」が発足しました。代表は県国体チーム強化コーチを務める市地域おこし協力隊の香月俊彦さん。香月さんは「ボートで菊池を盛り上げていきたい」と話しています。



クラブの加入対象は小学3年生～中学3年生。初心者でも楽しめるように練習をしています

7月13日 令和2年7月豪雨
被災地の復旧・復興に向けて

市は7月に豪雨被害を受けた熊本県南部地域(水保市、人吉市、八代市)の支援のため、職員を派遣しています。派遣された職員は、被災地の復旧・復興に向け避難所運営や災害ごみ処理などの支援を行っています。



市長から激励を受ける災害派遣第4陣および第5陣の職員

6月23日 緑綬褒章(褒状)
国道沿いに花を。深川フラワーズが受賞

深川フラワーズが令和2年春の褒章における緑綬褒章(褒状)を受章。同団体は平成11年の「くまもと未来国体」で選手団を歓迎するため、国道387号の沿道に花を植え始めたのが契機となり、美化・清掃活動を続けています。



深川フラワーズの原田秋彦代表(深川)は、「長年活動を頑張ってきた仲間が喜んでいて良かった」と語りました

6月25日 選挙管理委員会
選挙を身近なものに

選挙管理委員会では、特に若い世代に選挙を身近なものにするために出前講座を実施しています。今回は、泗水西小学校6年生13人に選挙制度の歴史やしくみの講義、模擬投票を行いました。



参加した児童は「18歳になったら、投票に行きたい」と話しました

7月8日 「社会を明るくする運動」伝達式
犯罪や非行のない社会を目指して

7月は犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える「社会を明るくする運動」の強調月間です。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、内閣総理大臣、熊本県知事からのメッセージが江頭市長に届けられました。



写真④から安武功心菊池地区保護司会菊池分会副会長(伊萩)、江頭市長、山田みち代菊池市更生保護女性会副会長(妻越)

6月16日 株式会社タートル
手指消毒用アルコールを寄贈

(株)タートルの山口勇二郎社長が市役所を訪れ、手指消毒用アルコール500mL、40本を寄贈しました。「新型コロナウイルス感染症の第2波に備えて、市の感染予防に役立ててほしい」と話しました。



山口社長④と社員の豊民恵美さん(砂田)④。寄贈された手指消毒用アルコールは市関係施設などで活用します

6月19日 熊本県緑化環境美化功労者表彰
花で地域の景観改善に貢献

重味椿会が江頭市長に受賞の報告をしました。同会は平成24年から道園地区の耕作放棄地で田畑として使用されなくなった土地にツバキなどの花を植え景観を改善。地区全体の公園化を進め、地域の活性化に尽力してきました。



岩永誠剛会長(道園)は「この受賞を励みにこれからも活動を頑張っていきたい」と話しました

6月23日 花き品評会および花き園芸功労者表彰式
久川裕徳さんのカスミソウが受賞

令和元年度熊本県花き品評会金賞および農林水産省生産局長賞に久川裕徳さん(三万田)の宿根カスミソウが選ばれました。審査講評では、作付けの工夫により長期出荷による安定経営や水分管理について評価されました。



表彰を受けた久川さん④。令和元年度は栽培管理には厳しい天候でしたが、2つの賞を獲得されました

6月15日 七城小・中学校
学校給食に「県産和牛」を無償提供

県が七城小・中学校に県産和牛約500食分を無償提供しました。外出自粛により牛肉の消費が落ち込んでいるため、消費拡大を目的に企画。品質を表す等級が最高のA5ランクの「くまもと黒毛和牛」をおいしそうにほおぼっていました。



提供されたメニューはビビンバ丼。森裕真くん(七城小6年生)は「おいしい牛肉を食べることができてうれしい」と笑顔で話しました

6月19日 株式会社ニフコ熊本
フェイスガード5500枚を寄贈

田島工業団地に工場を置く(株)ニフコ熊本が、自社製造のフェイスガード5500枚を市へ贈りました。寄贈されたフェイスガードは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に尽力する従事者のために有効に活用します。



江頭美市長にフェイスガードを渡す松本亮社社長④

6月22日 日本ファーム株式会社
子どもたちの感染予防に役立てて

日本ファーム(株)がフェイスガードやマスクなどを寄贈。「新型コロナウイルス感染症の防護用品は不足していると聞いている。学校も再開しているので、子どもたちの感染予防に役立ててほしい」と話しました。



江頭市長④に寄贈品を渡す日本ファーム(株)の大山宝治社社長④